

身障とくしま

社会参加推進センターだより

第59号
徳島県障がい者
社会参加推進センター
TEL 088-631-6266
FAX 088-631-6211
発行人 久米清美

年頭のご挨拶

社会福祉法人

徳島県身体障害者連合会

理事長 久米 清美

新年明けましておめでとうございます。皆様にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一年の始まりにあたり、当連合会の未来に向けて新たな一歩を踏み出し、新しい連合会づくりに尽力していく決意を新たにしています。

当連合会の活動の究極の目標は、全ての人が障害のあるなしにかかわらず、お互いに人格や個性を尊重しあいながら、地域で安心して暮らすことのできる社会の実現です。「共生社会」といわれていますが、当連合会は、こ

ういった「共生社会」の実現にむけて、力を注いでいます。

昨年は、県、関係団体と連携して、藍場町地下駐車場、松茂駐車場の2箇所の公設駐車場の障害者減免制度の創設、障害者交流プラザの福祉避難所指定といった障害者施策を前進させることができました。

引き続き、障害のある人にとつて暮らしやすい社会づくりのための取組を行ってまいります。また、市町村身体障害者団体の活動をしっかりと支えてまいります。今年度、市町村団



体が実施する、障害者スポーツの振興を図る事業、地域での交流促進を図る事業を支援するために、「スポーツ振興・地域交流促進交付金」を創設し、県内全市町村団体にご活用いただいております。市町村団体の皆様からご評価いただいております。市町村団体支援制度として、継続させてまいります。徳島県身体障害者団体の発展なくして当連合会の発展はない、との認識のもと、市町村団体のご意見を伺いながら、市町村団体活性化に資する取組を進めてまいります。

皆様のお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。今年一年が、災害のない、平穏な年となりますように、また、皆様にとりまして幸多き年になりますように心よりお祈り申し上げます。

新年のご挨拶

徳島県保健福祉部

部長 仁井谷 興史

新年明けましておめでとうございます。

日頃は、本県の障がい福祉行政の推進に、格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国におきましては、平成26年に、障がい者に関する初の国際条約である「障害者権利条約」を批准、平成28年には「障害者差別解消法」を施行し、

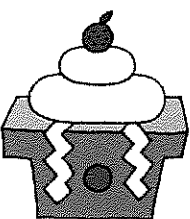
全ての人が障がいの有無によつて分け隔てられないことなく共生する社会の実現に向けた法整備が行われるとともに、「東京2020オリムピック・パラリンピック競技大会」を契機に、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人が、相互にコミュニケーションを取り、支え合う「心のバリアフリー」への取組みが進められております。

こうした中、本県に

おきましては、障がいのある方が地域でいきいきと暮らしていくために、全国のモデルとなる県条例「障がいのある人もない人も暮らしやすい徳島づくり条例」のもと、東京オリムピックを見据えた「スポーツ・文化活動の振興」の取組みに加え、障がい者就労支援施設における工賃向上に向け、「藍染め」や「スウィーツ」などのブランド化、農福連携による「新たな活躍の場の創出」など、障がいのある方が、その特性に応じて能力を発揮し、地域社会の一員となる機会の確保に県を挙げ、積極的に取り組んでまいりました。この結果、平成25年度以降、全国2位であった「障がい者施設における月額平均工賃」について、去る11月25日、厚生労働省から公表された平成30年度実

績では、「全国1位」となりました。

県といたしましては、今後、これまでの取組みをさらに発展させ、専門家による磨きをかけた商品開発、東京オリムピックを見据えた大都市圏での販路拡大や農福連携の充実強化など、工賃の一層の向上を図るとともに、「共生社会の実現」に向け、障がいのある方の「自立と社会参加」を促進する各種施策を積極的に展開することで、誰もが個性を発揮し自己表現できる社会「ダイバーシティとくしま」を着実に推進してまいりますので、皆様におかれましては、引き続き本県の身体障がい者福祉の充実に向けて、ご尽力いただきますようお願い申し上げます。



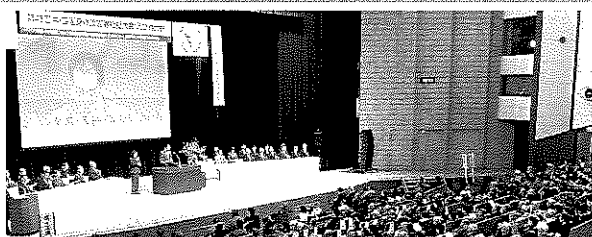
結びに、この1年が皆様にとりまして、良い年となりますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和元年11月6日(水)、松山市の松山市民会館において第45回中・四国身体障害者福祉大会(えひめ大会)が開催され、中・四国各県より約1,500人の仲間が集い、徳島県からは144名が参加しました。

第一部式典で大会長表彰が福祉功労者に贈られ、本県から戸部節子氏、岡本君子氏、石井修氏の3名が受賞されました。

第二部議事では、大会宣言、大会決議が、それぞれ満場一致で原案どおり採択されました。次回は令和3年度に鳥取県で開催予定です。

第45回 中・四国身体障害者福祉大会 えひめ大会



大会決議

大会スローガン

- ◎災害時の障がい者支援体制を早急に確立させよう
- ◎障害者差別解消法の一層の理解啓発を図り「共生社会」を実現しよう

一、地域の障がい者等の意見を反映した福祉避難所の設置・運営体制の早期整備、災害時の人工透析体制の確保、及び災害時に要支援者が安全に避難できる体制整備を図るなど、障がい者等の災害時要支援者に十分配慮した総合的な防災・減災対策を迅速かつ確実に推進することを要する。

一、障害者差別解消法の一層の普及啓発を図り、障がい者の雇用機会確保や所得保障により、障がい者の自立と社会参加を促進するため、障がいのある高校生や大学生に対する給付型奨学金制度の創設や、障害基礎年金の充実を要望するとも、障がい者雇用制度の適正運用を強く要望する。



松山や 秋より高き 天守閣

一、日常生活における障がい者の自立と社会参加を推進するため、JR障がい者割引制度の対象拡大を要望するとともに、有料道路の障がい者割引制度については、貸切バスや軽トラック等を割引対象に追加すること、及び障がい者手帳の提示のみで障がい者割引が適用されることを要望する。

一、駐車禁止除外指定車標章の交付要件、障がい者専用駐車場やパークングパーミット制度の運用、多目的トイレの使用条件、ラウンドアバウト交差点の整備等について、障がい者に配慮した適正な運用がなされることを要望する。

障がい者が地域で生きがいを持ち、安心して暮らせる社会環境の実現に向け、障がい者施策の更なる充実を目指し、以上決議する。

第21回中・四国ブロック身体障害者相談員研修会開催 ~パラリンピックの成功なくして東京大会の成功なし~



京大会は共生社会の実現に向けて人々の心の在り方を変える絶好の機会であり、大会が主に開かれる東京だ

10月3日(木)、岡山市において中・四国各県から身体障害者相談員約120名が参加して標記研修会が開催されました。

午前は、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部事務局の岩川勝参事官から「東京パラリンピックを契機とした共生社会の実現それに向けた地域の役割」と題して講演がありました。2020年東



た。2020年東

けでなく全国のレガシーとして、心のバリアフリーとユニバーサルデザインの街づくりを進めることが大事と話されました。

午後は、岡山県総社市下原・砂古地区自主防災組織の川田一馬副本部長が「西日本豪雨・アルミ工場爆発時の地域住民の避難行動について」自主防災組織の取り組み」と題して平成30年7月の西日本豪雨時に下原地区一帯が家屋浸水すると同時に対岸のアルミ工場爆発での負傷者、家屋損壊の被害状況の中で、犠牲者なく避難活動を行うことができた経緯をリアルに語られました。日頃からの地域のつながり、また行政と地区住民とのつながり大切なことと実際の避難訓練が重要なことを痛感しました。次回は令和2年10月8日徳島市で開催予定です。

Art&Culture 芸術・文化交流セミナー

令和元年11月24日(日)徳島の芸術・文化に触れながら交流の輪を広げることが目的として、Art&Culture芸術・文化交流セミナーを開催しました。

大塚国際美術館で世界の名画を鑑賞し、大鳴門橋架橋記念館EDDYでは雄大な渦潮について学び、いせや農場(鳴門市)では徳島の豊かな農産物を改めて実感しました。

38名の参加者は色々なものに触れながら時間を共有する中で良き交流のときを持ちました。



EDDY



大塚国際美術館

令和元年度 身体障害者相談員等研修会



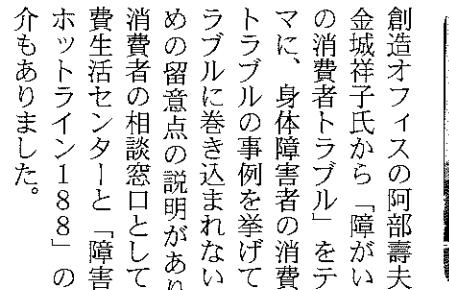
東京オリ・パラに向けて

令和元年度の身体障害者相談員等研修会が、10/31(西部圏域)と11/14(東・南部圏域)に開催されました。西部の研修では、徳島県障がい者活躍推進室の田岡直大主事から「2020東京オリ・パラ開催に向けて」と題してパラリンピックの特徴や東京オリ・パラ開催に向けての徳島県の様々な取組みについて講義がありました。

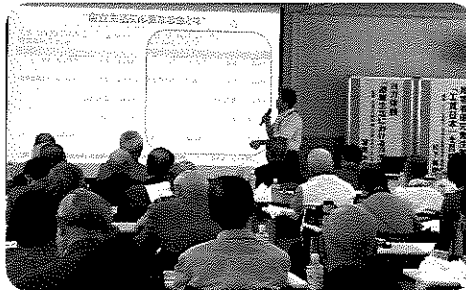


ヨガ体験

次に、とくしま障がい者就労支援協議会の松下義雄理事長から「平均工賃日本一を目指して、障がい者就労の現状と共同受注窓口の取組」をテーマに、障がい者が働くことの現状と課題、就労支援協議会の活動とブランドの展開について具体例を挙げてご講話を頂きました。



就労支援



消費者トラブル



創造オフィスの阿部壽夫氏、金城祥子氏から「障がい者の消費者トラブル」をテーマに、身体障害者の消費者トラブルの事例を挙げてトラブルに巻き込まれないための留意点の説明があり、消費者の相談窓口として消費生活センターと「障害者ホットライン188」の紹介もありました。

『すべての垣根を超え楽しめるスポーツ。ポッチャ競技』

徳島県ポッチャ協会 会長 永井 明人

tokushimaboccia@gmail.com

徳島市末広三丁目1-47

鍼灸マッサージ治療院 すえひろの堂 内



BOCCIA「ポッチャ」を知っていますか？
脳性麻痺など運動能力に障がいがある人のために考案されたスポーツがポッチャ競技です。白色のジャックボールを目標とし、赤色と青色のボールを投げ合い、距離や数により得点を競う競技になります。
起源は古代ギリシャの球投げともいわれていますが、現在の競技に近いものは六世紀ごろのイタリアで考え出されており、よく比較されるカールリングの十五世紀ころ発祥よりも、かなり歴史のある競技です。
ポッチャ競技の特徴として目標球を弾いて動かせるところがあります。これにより高い戦術や一発逆転などのゲーム性の面白さを生み出しています。
すべての障がいに対応できるようになっていて、ボールを手で投げられない人は足で蹴つても良いですし、それも難しい人はランブという勾配器具を使用し投球することができます。
徳島県ポッチャ協会では発足から今までに、地域や施設、学校やスポーツイベントにおいて体験会や講習会、教室やデモンストレーションを行なってきました。そこでは障がいの程度や有無に関係なく小さなお子様から高齢者まで多くの皆様に参加してもらっています。



ポッチャ大会

現在、徳島県ポッチャ協会では定期的に練習会を開催しています。初めての方から上級者の方までが参加していただき、お互いの競技レベルの向上を目指し頑張っています。こういった練習会や体験会に参加しポッチャを楽しむことが障がい者が社会と交流する機会となり障がい者の社会参加へ繋がるものと考えています。
2020年には東京パラリンピックを控え更にポッチャ熱は高まると期待されます。パラリンピック後も徳島県では年齢や性別、障がいの有無に関係なくすべての県民の皆様が共にポッチャ競技を楽しんでもらえるように活動していきたいと思っています。
徳島県ポッチャ協会では、競技者はもちろんですが、それを支えるスタッフも随時募集しています。ぜひ、気軽に参加してみてください。

令和元年 被表彰者

永年のご功績により受賞されました。
心よりお慶び申し上げます。(敬称略・順不同)

厚生労働大臣表彰

令和元年11月22日

社会福祉功労

林 徳太郎(徳島市)

知事表彰(障がい者の集い県民大会)

令和元年12月14日

身障福祉功労

川口 照代(徳島市)

栗原 由弘(徳島市)

上山 覚(徳島市)

浅野美恵子(徳島市)

北川 和彦(徳島市)

山本 章子(吉野川市)

迎 美佐子(吉野川市)

南 興平(美馬市)

藤井 修身(三好市)

福村 英雄(松茂町)

池添 秀信(松茂町)

自立生活模範

片岡 忠重(石井町)

身障福祉功労(団体)

阿波総合開発株式会社

知事表彰(徳島県表彰)

令和元年6月3日

社会福祉功労

村上 恒夫(海陽町)

特定非営利活動法人
とくしま障がい者就労
支援協議会

徳島県身障理事長表彰

(県身体障害者福祉大会)

令和元年12月14日

身障福祉功労

岩佐 重明(徳島市)

小賀 康生(徳島市)

三好佳代子(徳島市)

古庫 計子(吉野川市)

尾之上信義(吉野川市)

山本 里子(吉野川市)

藤本登志子(吉野川市)

長元 清輝(吉野川市)

緒方 正昭(美馬市)

岡崎 昭洋(三好市)

伊藤 博美(篠河内村)

兼松 久雄(松茂町)

長町 進(松茂町)

賀治 清(藍住町)

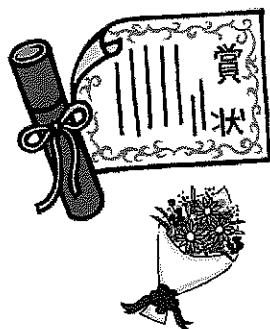
福島美智代(上板町)

宮田 将(東みよし町)

自立更生

熊野 昭(東みよし町)

福田 辰雄(東みよし町)



《賛助会員制度》

賛助会員制度につきましては多くの皆様温かいご支援を
頂き感謝申し上げます。
◎趣旨にご賛同いただいた皆様
(月31・4・11・R1・11・13) 敬称略・五十音順

- | | |
|-------------|-----------|
| 阿波バラス株式会社 | 富 弘生 |
| 一村 幸子 | 豊田 賀行 |
| 乾 和雄 | 中野 芳輝 |
| 上田 恵美 | 中山 善嗣 |
| 大久保 愛子 | 野口 稔 |
| 大西 正之 | 坂東 克典 |
| 小笠 良英 | 坂東 英之 |
| 賀治 清 | 坂東 正文 |
| 勝浦町身体障害者会 | 坂東 泰宏 |
| 鎌田 信隆 | 東谷 克子 |
| 鴨島町身体障害者会 | 日切 加奈子 |
| 川島町身体障害者会 | 平川 靖幸 |
| 北島町身体障害者連合会 | 広瀬 加代 |
| 木村 博 | 福島 美智代 |
| 久米 清美 | 古庫 計子 |
| 後藤田 賢 | 正木 祐史 |
| 佐那河内村身体障害者会 | 松田 卓男 |
| 塩見 一義 | 村上 可郎 |
| 滝 壽郎 | 桃井 春男 |
| 竹田 国利 | 森 武男 |
| 多田 博一 | 山川町身体障害者会 |
| 田中 精一郎 | 山本 里子 |
| 筒井 節子 | 平野 寛 |

賛助会員入会のご案内

○賛助会費(年額)
個人1口 1,000円 ※お一人何口でも
団体1口 10,000円 ※1団体何口でも

※当法人への賛助会費は税法上、
寄附金扱いとなり、所得税の寄
付金控除(所得控除)又は法人
税法の特別損金算入の対象とな
ります。

○賛助会員の皆様には、機関誌
「身障とくしま」をお届けしま
す。
ご入会についてのお問合せは
県身障事務局まで
TEL 088-631-6266



2020年が暮
開けました。今年
はいよいよ東京オ
リンピック・パラ
リンピックが開催
となります。皆様
にとって幸多い年
であり、幸多き年
に申し上げます。
本年もどうぞよ
ろしくお願ひ申し
上げます。

編集後記

- ### 今後の行事予定
- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 5月 予定 | ノーマピックススポーツ大会 |
| 6月 4日(木) | 第65回日本身体障害者福祉大会(広島県) |
| 10月 8日(木) | 第22回中・四国ブロック身体障害者相談員研修会(徳島県) |
| 10月 24日(土)
~26日(月) | 第20回全国障害者スポーツ大会(鹿児島県) |